

感染症対策

へのご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐためには、1人ひとりの心がけが大切です。あなたやあなたの周りの人々を守るための行動をとりましょう。



マスクを着用
しましょう



石けんで手を
洗いましょう



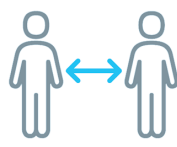
こまめに換気
しましょう



3密を避けま
しょう



咳エチケット
を心がけま
しょう



ほかの人と十分
な距離(2m)
取りましょう

問合せ 健康保険課 健康増進グループ
☎029-240-6550

文芸しろさと

俳句

放牧の仔牛鳴きをり草紅葉
綿引 英子
かまつかの実も赤くなり初紅葉
中野 千賀子
鯛雲母の温もり遙かにて
園部 洋一
赤黄ワインしおりにしたき紅葉なり
岩澤 とし江
秋出水泥に塔婆とドラム缶
飯田 勇一
鯛雲車に乗せる母小さし
竹内 幸子
月光の降りたる山の青さかな
田口 勝元

川柳

昔々はある所に今はいたる
所にじいとばあ
「いい湯だね」友と語らうホ
車の 綾子
口の湯
飯村 孝一
のど自慢演歌の時代遠くなり
川原 清



短歌

娘等が祝いてくる私の卒寿
信田 育子
中秋の空も晴れわたりいて
夏のおわり秋海棠の群れ咲き
て吾が庭楽し花の色あふる
富田 佐智子
なつめの実みどりに茶色き斑の入
りて囁れば仄かにりんごの香り
萩谷 登喜子
静かなる暁ごとに見渡せば
まだ深き夜の夢ぞ悲しき
矢次 洋平
子だからと昔の言葉そのまま
にむすめがあつて今はばんざい
富田 欽子
同年の心の友よ亡き女王「立
派な人生」愛のほほえみ
山形 式妙

しろさとまち通信

地域おこし 通信

—城里町地域おこし協力隊— Vol.79

城里町地域おこし協力隊の連載、11月号は
一丸大地が担当します！



こんにちは！3月から農業政策課の地域おこし協力隊に着任した一丸です。城里町に来てから半年が経ちました。城里町に来る前は北海道にいたこともあり、久しぶりの関東の夏にだいぶやられてしまいました。しかし、自然に囲まれた城里町では、明方や夕方にはヒグラシの鳴き声が聞こえ、夜布団に入るとさまざまな虫やカエルが響き渡り、まるでキャンプ場のテントの中で寝ているような素敵な気分になることができます。そんな自然豊かでのどかな城里町で暮らすことができているのが嬉しいです。

現在、私は古内地区でお茶の研修を受けています。複数の生産者の方々のもとで、日々お手伝いをしながら技術を学ばせていただいております。

古内地区では多くのお茶の生産者の方が二番茶以降の摘み取りを行わないため、夏期間は肥料の散布や雑草の抜き取りなど、お茶畑の管理が主な仕事となります。特にお茶の木の間から生える、つるなどの雑草は一本ずつ手で引き抜いていかなければならないため、非常に時間のかかる作業です。これからは来年度に向けて、お茶の木をならす作業が始まります。生産者の方々がそれぞれ大切に育てているお茶の木ですので、研修の際も丁寧に扱うよう心がけています。

城里町に来てからお茶の魅力に触れ、とても興味を持ちましたので、来年以降もお茶の研修を継続させていただきたいと思っています。今後はお茶の生産だけでなく、古内茶が多くの人に飲んでいただけるよう、普及活動も頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願ひします！

問合せ
農業政策課
☎029-288-3111(内線253)